

令和5年度 情報科

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	情報 I N e x t (数研出版)						
副教材等	情報 I N e x t サポートノート (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・社会で生きていくうえで必要な情報に関するモラルや法を理解するとともに、コンピュータ技術を身につけ、情報社会に積極的に参画する力を身につけましょう。
 ・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械 (コンピュータ) に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。

2 学習の到達目標

- ・課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含め、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達することができる。
- ・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
- ・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めたいこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会における法とセキュリティ	情報の特徴 情報の表現形式 問題解決 個人情報 知的財産権 著作権 情報セキュリティ	a: 問題の本質は何であることを知り、その問題をまとめることができる。 b: コンピュータを活用することで、仕事や生活における利点や問題点について考えることができる。 c: 情報社会に関心を持ち、自らの情報活用能力を高めようとしている。	定期考査	定期考査	授業観察 ワークシート
	コミュニケーションと情報デザイン	コミュニケーション手段の発達 情報の発信とメディアの性質	a: 効果的に情報を伝えるために発信の手順や方法を考えることができる。 b: プレゼンテーションソフトウェアを使ったスライド作成の方法を理解している。 c: 問題の本質は何であることを知り、その問題をまとめ、発信することができる。また、コンピュータおよび文書処理ソフトウェアを用いて情報を編集し、発信することができる。	定期考査	実技試験	授業観察 ワークシート
2学期	情報デザイン	情報を表現する方法 効果的な情報デザイン	a: 文書情報が身の回りの生活の中で果たしている役割や種類について理解している。 b: 図形や画像情報の活用により情報の簡潔化、明瞭化、印象の強化などの効果が期待できることについて理解し、活用ができる。 c: 問題の本質は何であることを知り、その問題をまとめ、発信することができる。また、コンピュータおよび文書処理ソフトウェアを用いて情報を編集し、発信することができる。	定期考査	実技試験	授業観察 ワークシート

※令和4年度以降入学生用

	データの分析	さまざまなデータ データの分析	<p>a: 表計算ソフトウェアの仕組み、特徴や機能、管理方法を理解し、様々なデータを表計算ソフトウェアに入力して計算することができる。</p> <p>b: 表計算ソフトウェアを用い、データを目的に応じた利用しやすい形で取り出し、活用するための技法を習得している。</p> <p>c: 表計算ソフトに関心を持ち、自らの情報分析能力を高めようとしている。</p>	実技試験 定期考査	実技試験	授業観察 ワークシート
3学期	コンピュータとプログラミング	アルゴリズム プログラミング言語 プログラミングの方法 条件分岐式とくりかえし命令 配列と関数、プログラムの修正	<p>a: 問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。</p> <p>b: 問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて、適切な解決方法を選択することができる</p> <p>c: 問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。</p>	定期考査 実技作品	定期考査	授業観察 ワークシート
	モデル化とシミュレーション	モデル化 シミュレーション	<p>a: 問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。</p> <p>b: 問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて、適切な解決方法を選択することができる</p> <p>c: 問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。</p>	定期考査 実技作品	定期考査	授業観察 ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度